

キッコーマン株式会社

2018年度第2四半期決算説明会

2018年11月1日（木）

①当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

②資料中の西暦表示は、4 - 3月決算期に対応します。
例) 2018年 = 2018年4月～2019年3月

テーマ

➤ 中期経営計画について

代表取締役社長 CEO 堀切 功章

➤ 2018年度上期業績報告と

2018年度業績予想

常務執行役員 CFO 神山 隆雄

中期経営計画について

代表取締役社長CEO
堀切功章

営業利益率9%、ROE10%以上を目指す。

	2017年度 実績	2020年度 目標	年平均成長率 (為替差除)
売上高	4,306億円	5,000億円	+5.8%
営業利益	365億円	450億円	+8.1%
営業利益率	8.5%	9%	—
ROE	9.8%	10%以上	—

※為替 ドル 110.8円 105.0円
 ユーロ 129.5円 130.0円

収益力強化と成長継続

高付加価値化の推進

生産性の向上

新たな柱の構築

海外しょうゆ事業 目標と施策

売上高成長目標 年平均6% (現地通貨ベース)

売上高成長目標
(現地通貨ベース)

北米	安定成長	年平均 5%
欧州	2桁成長	年平均 10%
アジア・ オセアニア	アセアは 2桁成長	年平均 6%

施策

- **主要市場の深耕**
 - ・未使用者層の開拓
 - ・高付加価値商品の拡大
- **新規市場の開拓**
 - ・ブランド認知度向上
 - ・商品開発強化
 - ・市場に合わせた営業体制の構築

新興国市場開拓の足場を固める。

海外しょうゆ事業 主要市場での取り組み

売上高成長目標 年平均6% (現地通貨ベース)

北米

- ・高付加価値商品の拡大
(減塩、グルテンフリー等)
- ・業務・加工用ユーザーへの
きめ細かな対応



欧州

- ・メディア、店頭販促を通じた
認知度向上、ブランド強化
- ・商品ラインアップの拡充、
各国の嗜好に合わせたレシピ開発

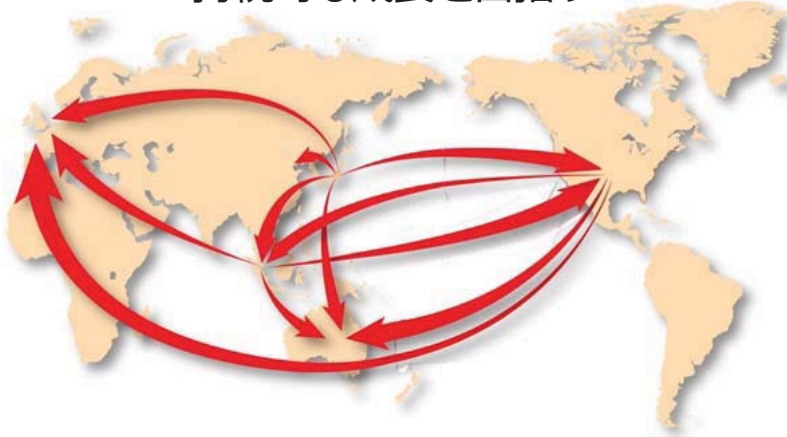
アジア・オセアニア

- ・アセアン：国ごとの嗜好・食材
に合った新商品・レシピ開発
- ・中国：本醸造・高品質を訴求

東洋食品卸事業 目標と取り組み

売上高成長目標 年平均8% (現地通貨ベース)

「新拠点展開の継続」と「既存拠点の整備・体制強化」で
持続的な成長を目指す



拠点ネットワーク
の整備

物流体制
の強化

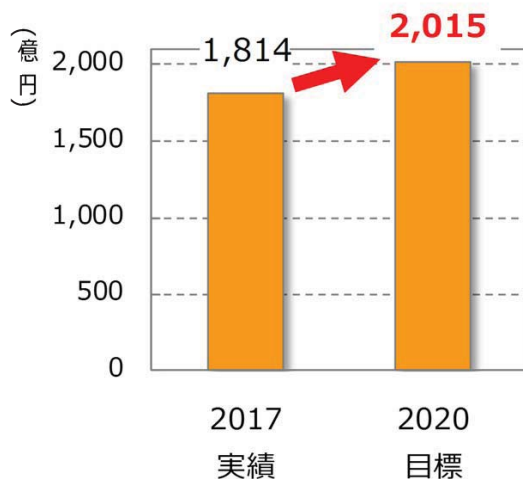
商品調達力
の強化

国内事業 目標

高付加価値商品を拡大し、
売上高成長とともに収益力向上を図る。

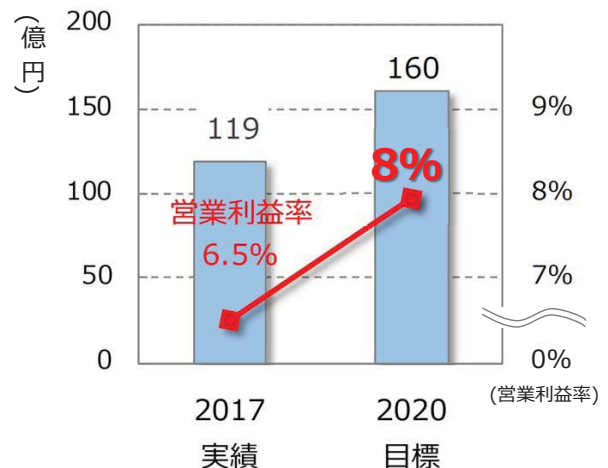
売上高

売上高成長目標
年平均3.6%



営業利益

営業利益率目標
8%



国内事業 増減益要因・主な施策

増益 要因	売上増 及び 体質強化 +95億円	<ul style="list-style-type: none"> ● 高付加価値商品の拡大 ● 豆乳事業の成長 ● 低収益アイテムの整理・改善 ● 原価改善 ● 販売経費・物流費の効率化 					
	減益 要因	<table border="1"> <tr> <td>コストアップ △29億円</td> <td>● 原材料費、物流費、人件費等の増加</td> </tr> <tr> <td>減価償却費 △16億円</td> <td>● 設備投資の増加</td> </tr> <tr> <td>広告宣伝 △9億円</td> <td>● 広告宣伝投資の増加</td> </tr> </table>	コストアップ △29億円	● 原材料費、物流費、人件費等の増加	減価償却費 △16億円	● 設備投資の増加	広告宣伝 △9億円
コストアップ △29億円	● 原材料費、物流費、人件費等の増加						
減価償却費 △16億円	● 設備投資の増加						
広告宣伝 △9億円	● 広告宣伝投資の増加						
合計		+41億円					

国内事業 取り組み

高付加価値商品の拡大

しょうゆ・食品

- ・高付加価値商品のラインアップ、販促の強化
- －いつでも新鮮シリーズ、特に減塩
- －濃いだし本つゆ、具麺、しぼりたて生ぽんず
- －リコピンリッチ トマトケチャップ



飲料

- ・リコピンリッチ トマト飲料への注力
- ・機能性表示食品の展開 (無塩トマトジュース・野菜ジュース)

酒類

- ・米麴こだわり仕込み本みりんの拡大、みりんレギュラー品の商品力向上
- ・日本ワインの強化

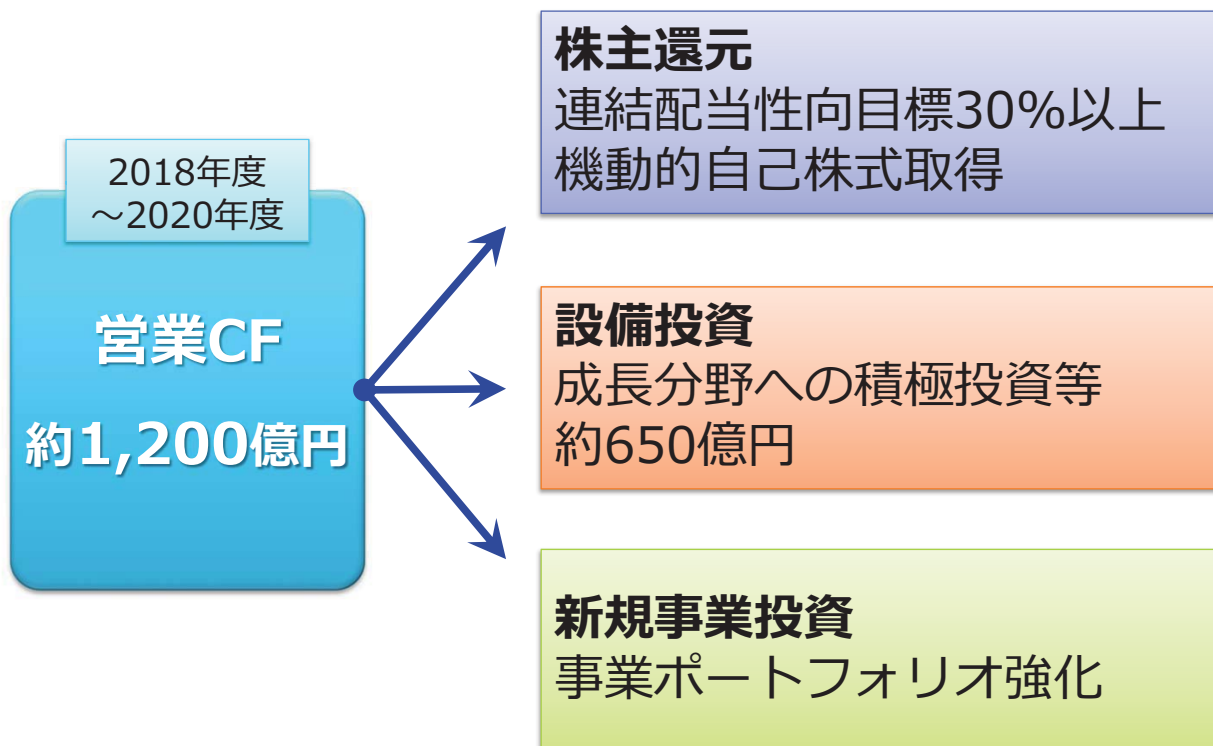
豆乳事業の成長

差異化された商品の展開

TVCM等による需要の喚起



財務戦略



2018年度 上期業績報告と 2018年度 業績予想

常務執行役員 CFO
神山隆雄

テーマ

[1] 2018年度 上期業績

[2] 2018年度 業績予想

〔1〕 -1. 上期実績 連結計P/L (対前年実績)

上期実績

金額単位: 億円

	当年	前年	増減	%	増減の内訳		
					為替差	実質	%
売上高	2,261	2,145	116	105.4	△ 12	128	106.0
国内	940	923	17	101.8		17	101.8
海外	1,337	1,236	101	108.2	△ 12	113	109.1
営業利益	201	191	10	105.2	△ 1	11	105.6
国内	71	67	5	107.0		5	107.0
海外	132	128	4	103.3	△ 1	5	103.9
キッコーマン (HD)	38	32	7	120.9		7	120.9
セグメント間消去等	△ 41	△ 35	△ 6			△ 6	
経常利益	200	188	12	106.1	△ 1	12	106.5
税前利益	201	184	17	109.1	△ 1	17	109.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	143	120	23	119.0	△ 1	23	119.5

US\$ 110.1 111.4 △ 1.4
EUR 129.9 126.6 3.3

〔1〕 -2. 上期実績 国内売上高 (対前年実績)

上期実績

金額単位: 億円

		当年	前年	増減	%
国内	しょうゆ	245	247	△ 2	99.2
	食品	308	300	8	102.5
	飲料	288	272	16	105.8
	酒類	53	59	△ 6	90.0
	セグメント間	△ 1	△ 1		
	食料品製造販売	893	878	15	101.7
	その他	108	107	1	100.9
	セグメント間	△ 61	△ 62	1	
	計	940	923	17	101.8

- ・ しょうゆ いつでも新鮮が好調。ペットボトル、加工・業務用は減収。
- ・ 食品 しょうゆ関連調味料が好調。
- ・ 飲料 豆乳飲料、デルモンテ飲料ともに順調。

〔1〕-3. 上期実績 海外売上高（対前年実績）

上期実績

金額単位：億円

		当年	前年	増減	%	増減の内訳		
						為替差	実質	%
海外	北米	964	913	51	105.6	△ 13	64	107.0
	食料品製造販売	299	292	6	102.2	△ 4	11	103.7
	食料品卸売	709	661	48	107.2	△ 9	56	108.5
	欧州	151	130	21	115.7	3	18	113.6
	食料品製造販売	64	57	7	112.0	2	5	109.2
	食料品卸売	99	85	15	117.4	2	13	115.6
	アジア・オセアニア	185	174	11	106.5	△ 2	14	107.8
	食料品製造販売	100	92	8	109.0	1	7	108.0
	食料品卸売	87	84	3	103.7	△ 3	6	107.6
その他	211	191	19	110.1		19	110.1	
セグメント間	△ 174	△ 173	△ 1			△ 1		
計	1,337	1,236	101	108.2	△ 12	113	109.1	

US\$ 110.1 111.4 △ 1.4
EUR 129.9 126.6 3.3

北米、欧州、アジア・オセアニア各地域で増収。

〔1〕-4. 上期実績 連結営業利益（対前年実績）

上期実績

金額単位：億円

		当年	前年	増減	%	増減の内訳		
						為替差	実質	%
国内	食料品製造販売	62	59	3	105.2		3	105.2
	その他	9	7	2	121.6		2	121.6
	計	71	67	5	107.0		5	107.0
海外	北米	88	89	△ 1	98.9	△ 2	1	100.7
	欧州	22	19	3	116.6	1	2	112.6
	亜・豪	13	13		102.4			101.2
	その他	9	9		104.9			104.9
	計	132	128	4	103.3	△ 1	5	103.9
キッコーマン（HD）		38	32	7	120.9		7	120.9
セグメント間消去等		△ 41	△ 35	△ 6			△ 6	
連結合計		201	191	10	105.2	△ 1	11	105.6

US\$ 110.1 111.4 △ 1.4
EUR 129.9 126.6 3.3

〔1〕 -5. 国内営業利益の主な増減要因

国内 +5 億円

(単位：億円)



〔1〕 -6. 海外営業利益の主な増減要因

海外 +4 億円

(単位：億円)



〔1〕 -7. 上期実績 連結計P/L (対上期予想)

上期実績

金額単位: 億円

	当年	予想	増減	%	増減の内訳		
					為替差	実質	%
売上高	2,261	2,187	74	103.4	32	43	102.0
国内	940	938	2	100.2		2	100.2
海外	1,337	1,263	74	105.8	32	42	103.3
営業利益	201	195	6	103.1	3	3	101.6
国内	71	67	5	106.8		5	106.8
海外	132	132		100.1	3	△ 3	98.0
キッコーマン (HD)	38	32	6	119.4		6	119.4
セグメント間消去等	△ 41	△ 36	△ 5			△ 5	
経常利益	200	186	14	107.5	3	11	106.1
税前利益	201	186	15	107.8	3	12	106.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	143	132	11	108.6	2	9	107.0

US\$ 110.1 105.0 5.1
EUR 129.9 130.0 △ 0.1

〔1〕 -8. 連結貸借対照表 増減明細

①総資産 = 3,613億円	対前期末	+174億円
②為替による影響		+50億円
実質差異 (① - ②)		+124億円

(単位: 億円)

資産の部	増減	負債純資産合計	増減
流動資産	+ 58	負債の部	△ 34
現金及び預金	+ 33	有利子負債	+ 2
受取手形・売掛金	+ 24	支払手形・買掛金・未払金	△ 15
たな卸資産	+ 17	未払法人税等	+ 2
繰延税金資産	+ 0	退職給付に係る負債	△ 1
その他	△ 17	繰延税金負債	+ 2
固定資産	+ 66	その他	△ 25
有形固定資産	+ 63	純資産の部	+ 158
無形固定資産	+ 4	利益剰余金	△ 205
(のれん)	+ 3)	有価証券評価差額金	+ 5
投資その他	△ 1	為替換算調整勘定	+ 41
(投資有価証券)	△ 6)	非支配株主持分	△ 2
(繰延税金資産)	△ 2)	その他	+ 319

〔1〕 -9. 連結キャッシュ・フロー

Net CF当期 (① + ② + ③ + ④) = +10億円

(単位：億円)

①営業CF	+ 169
税引前純利益	+ 201
減価償却費	+ 65
売上債権の増減	△ 18
たな卸資産の増減	△ 16
仕入債務の増減	+ 2
法人税等の支払	△ 60
その他	△ 4

②投資CF	△ 134
2' 固定資産の取得	△ 137
2' 固定資産の売却	+ 5
投資有価証券の取得	△ 6
貸付金の増減	△ 7
投資有価証券の売却収入	+ 0
その他	+ 11

①+2' フリー・キャッシュ・フロー + 37

②-2' 投資CF (除く設備) △ 2

③財務CF	△ 33
短期借入金の増減	△ 0
配当金の支払額	△ 35
自己株式の取得	△ 0
その他	△ 0

④換算差額	+ 8

〔2〕 -1. 連結業績予想 予想の前提条件

➤ 為替

下期 US\$ 110.0円 EUR 130.0円

通期 US\$ 110.0円 EUR 130.0円

➤ 原材料等の影響

連結計

下期： 8億円利益減 (国内：▲4億円、海外：▲4億円)

通期： 22億円利益減 (国内：▲7億円、海外：▲15億円)

〔2〕 -2. 下期業績予想 連結計P/L (対前年実績)

下期予想

金額単位: 億円

	下期 予想	前年 実績	増減	%	増減の内訳		
					為替差	実質	%
売上高	2,247	2,161	86	104.0	△ 20	106	104.9
国内	905	891	14	101.6		14	101.6
海外	1,356	1,285	71	105.5	△ 20	91	107.1
営業利益	175	174	1	100.6	△ 2	3	101.7
国内	49	52	△ 3	93.4		△ 3	93.4
海外	137	130	7	105.5	△ 2	9	106.9
キッコーマン (HD)	31	31		100.2			100.2
セグメント間消去等	△ 42	△ 39	△ 3			△ 3	
経常利益	162	171	△ 9	94.5	△ 2	△ 8	95.5
税前提利益	161	176	△ 15	91.6	△ 2	△ 13	92.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	112	118	△ 6	94.6	△ 1	△ 5	95.8

US\$ 110.0 110.1 △ 0.1
EUR 130.0 132.7 △ 2.7

〔2〕 -3. 下期業績予想 国内売上高 (対前年実績)

下期予想

金額単位: 億円

		下期 予想	前年 実績	増減	%
国 内	しょうゆ	255	254	1	100.2
	食品	297	288	9	103.0
	飲料	248	235	13	105.7
	酒類	61	70	△ 9	87.2
	セグメント間	△ 1	△ 1		
	食料品製造販売	860	846	13	101.6
	その他	105	105	1	100.6
	セグメント間	△ 60	△ 60		
	計	905	891	14	101.6

〔2〕 -4. 下期業績予想 海外売上高（対前年実績）

下期予想

金額単位：億円

		下期 予想	前年 実績	増減	%	増減の内訳		
						為替差	実質	%
海外	北米	995	942	53	105.6	△ 9	62	106.6
	食料品製造販売	301	286	15	105.2	△ 3	17	106.1
	食料品卸売	738	695	43	106.2	△ 6	50	107.2
	欧州	163	149	14	109.6	△ 4	18	112.3
	食料品製造販売	69	64	5	107.2	△ 1	6	109.2
	食料品卸売	108	96	11	111.7	△ 3	14	114.7
	アジア・オセアニア	189	183	6	103.4	△ 8	14	107.8
	食料品製造販売	98	97	1	101.4	△ 3	5	104.9
	食料品卸売	93	87	6	106.6	△ 5	10	111.9
その他	187	187		100.0			100.0	
セグメント間	△ 178	△ 175	△ 3			△ 3		
計	1,356	1,285	71	105.5	△ 20	91	107.1	

US\$ 110.0 110.1 △ 0.1

EUR 130.0 132.7 △ 2.7

〔2〕 -5. 下期業績予想 連結営業利益（対前年実績）

下期予想

金額単位：億円

		下期 予想	前年 実績	増減	%	増減の内訳		
						為替差	実質	%
国内	食料品製造販売	43	45	△ 1	96.8		△ 1	96.8
	その他	6	7	△ 2	76.6		△ 2	76.6
	計	49	52	△ 3	93.4		△ 3	93.4
海外	北米	93	86	6	107.4	△ 1	7	108.1
	欧州	23	22	1	104.3	△ 1	2	107.2
	亜・豪	12	12		102.2		1	106.3
	その他	9	9	1	105.8		1	105.8
	計	137	130	7	105.5	△ 2	9	106.9
キッコーマン（HD）		31	31		100.2			100.2
セグメント間消去等		△ 42	△ 39	△ 3			△ 3	
連結合計		175	174	1	100.6	△ 2	3	101.7

US\$ 110.0 110.1 △ 0.1

EUR 130.0 132.7 △ 2.7

〔2〕 -6. 通期業績予想 連結計P/L (対年初公表)

通期予想

金額単位: 億円

	当年 予想	年初 公表	増減	%	増減の内訳		
					為替差	実質	%
売上高	4,508	4,420	88	102.0	55	33	100.7
国内	1,845	1,852	△ 7	99.6		△ 7	99.6
海外	2,693	2,597	96	103.7	55	41	101.6
営業利益	376	376		100.0	7	△ 7	98.2
国内	120	121	△ 1	99.2		△ 1	99.2
海外	269	267	2	100.7	6	△ 4	98.4
キッコーマン (HD)	70	67	3	104.5		3	104.5
セグメント間消去等	△ 83	△ 79	△ 4			△ 4	
経常利益	362	362		100.0	6	△ 6	98.3
税前提利益	362	362		100.0	6	△ 6	98.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	255	255		100.0	5	△ 5	98.2

US\$ 110.0 105.0 5.0

EUR 130.0 130.0



おいしい記憶をつくりたい。